

# 門脇映画3部作 一挙上映会

3月4日(土)

3月5日(日)

In シアターキネマティカ  
(石巻市中央1丁目3-12)

鑑賞料：1,000円  
(小学生・中学生・高校生無料)

「東日本大震災」でとくに被害の大きかった地域の一つ「門脇・南浜町地区」。  
被災直後から6年半にわたって、同地区を撮り続けた映画監督青池憲司氏の  
ドキュメンタリー映画3部作を一挙上映。



## 『3月11日を生きて ～石巻・門脇小・人びと・ことば～』

東日本大震災で石巻市の小学校は、大きな被害を受けた。かつて体験したことのない大地の揺れと迫りくる大津波。そのとき、学校現場は状況をどのように把握し、判断し、行動したのか。子どもたちは？ 教師は？ 保護者家族は？ 門脇小学校の、3月11日<そのとき>から12日朝までを、37人の「ことば」で紡いだドキュメンタリー映画。



## 『津波のあとの時間割 ～石巻・門脇小・1年の記録～』

大津波と火災で壊滅的な打撃を受けた門脇小学校。校舎は使用不能となり、地域(校区)もそのほとんどが荒野と化した。4月、小学校は、門脇中学校に間借りして新学期を迎えた。教室には、震災と向き合う児童たちの姿があった。2011年6月から門脇小学校にカメラを据えて1年。この映画は、教室と地域、子どもとおとなの再生の日々の記録である。



## 『まだ見ぬまちへ ～石巻・小さなコミュニティの物語～』

この映画は、石巻市門脇・南浜・雲雀野地区の「人とコミュニティの再生」を6年半にわたって記録した作品である。復興が進まず、居住環境が整わない地域の暮らしをどう活かすか？ 高齢者のケアは？ 新しい住民とのコミュニケーションは？ かたちが見えてきたまちへの期待と不安？ 映画は人びとの、コミュニティづくりのプロセスを見つめる。

上映スケジュールや詳細は裏面へ⇒